

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公開番号】特開2012-39815(P2012-39815A)

【公開日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2010-179459(P2010-179459)

【国際特許分類】

H 0 2 J 17/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 17/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月28日 (2012.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

請求項 1 に記載のワイヤレス給電方法において、

前記送電部の前記第 1 の共鳴素子に対して、前記複数の受電部の前記第 2 の共鳴素子が直列状に配置され、互いに前後に接続された共鳴素子が磁界共鳴により結合して給電することを特徴とするワイヤレス給電方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 5 に記載のワイヤレス給電システムにおいて、

前記送電部の前記第 1 の共鳴素子に対して、前記複数の受電部の前記第 2 の共鳴素子が直列状に配置され、互いに前後に接続された共鳴素子が磁界共鳴により結合して給電する構成である

ことを特徴とするワイヤレス給電システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また、送電部の第 1 の共鳴素子に対して、複数の受電部の第 2 の共鳴素子が直列状に配置され、互いに前後に接続された共鳴素子が磁界共鳴により結合して給電するようにしてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 1 4 】

また、送電部の第 1 の共鳴素子に対して、複数の受電部の第 2 の共鳴素子が直列状に配置され、互いに前後に接続された共鳴素子が磁界共鳴により結合して給電する構成としてもよい。